

製品名: Ube2L3/UBCH7 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84755**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 18 kDa ; Observed MW: 17 kDa

抗原情報

遺伝子名	Ube2L3/UBCH7
別名	UBCE7; UbcH7; UbcM4; Ube2l3;;UBE2L3
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P68036
免疫原	ヒト UBE2L3 由来の合成ペプチド

背景

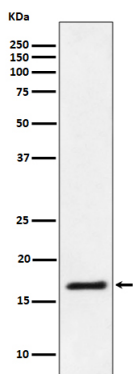
ユビキチン結合酵素 E2 は、HECT 型および RBR ファミリー E3 ユビキチンタンパク質リガーゼに特異的に作用します。リジンに対す

る E3 非依存性の反応性を欠いているため、ほとんどの RING 含有 E3 ユビキチンタンパク質リガーゼとは機能しません。一方、RING-HECT ハイブリッドのように機能する PRKN、RNF31、ARIH1 などの RBR ファミリー E3 酵素とは活性を示します。E1 複合体からユビキチンを受け取り、他のタンパク質への共有結合を触媒します。in vitro では、「Lys-11」結合型ポリユビキチン化を触媒します。

研究分野

-

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の Ube2L3 / UBCH7 発現のウェスタン ブロット分析。